

## プロジェクトのミッションとゴール

顧客へ提供するソリューションを自ら実践するために、ハードとソフトの両面から「個と組織を生かす」に取り組む

### 4 Valuesを体現するワークスタイルを実現する

- |                                |                                   |                                     |  |
|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|--|
| <b>1. 価値共創</b><br>顧客との接点時間を豊かに | <b>2. 当事者意識</b><br>プロとして主体的に・自立的に | <b>3. 相互信頼</b><br>組織の壁を超えるコミュニケーション | <b>4. 創造的思考</b><br>創造性に富む思考のための、インプット・アウトプットバランス |
|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|--|

「人（活動）」のレベルアップ（創造性・生産性の向上）

「質」を高める  
OUTPUT/成果の向上

「時間」を有効活用  
総労働短縮

### 場（ワークプレイス）の設計

PC・ネットワーク

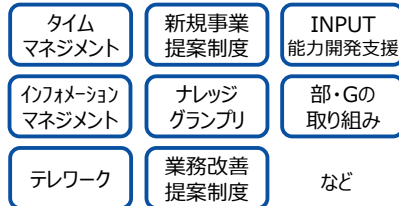
電話

### ハード

「プロフェッショナルとしての自律と協働を促す働き方を実現する」ための場（ワークプレイス）を構築

### ソフト

プロフェッショナルとしての成長を実現する人事制度のもと、創造性・生産性の向上を目的とした様々な施策を展開



## ワークプレイスのコンセプト

# co-creative base camp

一人ひとりの情熱と英知を結集し、ひとつのチームとして「個と組織を生かす」ビジョン実現のためのco-creative（協創）が最大限に促進される場でありたい。  
未知のフィールドに向けた出発拠点、そして還る場所、信頼できる仲間と安心して過ごせるビジネスアドベンチャーのためのベースキャンプ。

リクルートマネジメントソリューションズの強みを活かして顧客の経営・組織・人事課題の解決を支援するために必要なアクティビティを活性化させる  
弊社ならではのActive Based Workplaceを導入

協働し、刺激を受け合いながら、その中で個と組織のシナジーが生み出される

**協働**

所属組織や会社を超えて知のコミュニケーションが広がり、新しいアイデアや活動が生まれていく

協働者との連携・議論・コミュニケーションに加え、部下・後輩へも関わる

**信頼**

仲間と顔を合わせてホッとできる、つながっている「信頼」や「温かみ」を実感できる



お客様の課題解決に真剣に取り組む

**挑戦**

今よりも集中・没頭できる

アウトプットのために集中してインプットできる

**学習**

ますます新しいことを創り出すエネルギーが湧いてくる

# 自律と協働を促進し「個と組織を生かす」ワークプレイスの構築

個と組織を生かす

## FMのとりくみ

### 「自分たちのワークプレイスは自分たちで創る」独自のFMを推進

- 1 自社リソースを活かした内製型FM**  
 FM初心者からスタートし、外部FMサービスに頼るのではなく、「人と組織のプロ」として、自分達らしいワークスタイルの実現に取り組みました。
- 2 2つのフェーズを分けたプロセス**  
 ワークプレイスコンセプト構築フェーズでオフィスのあり方を十分に議論した上で、設計・構築フェーズに着手。戦略的にワークプレイスを計画することができました。  
 フェーズ1：ワークプレイスコンセプト構築フェーズ    フェーズ2：ワークプレイス設計・構築フェーズ
- 3 全社員を巻き込んだ参画型プロジェクトの推進**  
 すべてのプロセスで全社員を巻き込みながら、プロジェクトを推進。プロジェクト内だけでなく、全社の複数の会議体を組み合わせ活用しながら、社員の意見をバランスよく取り入れました。

内製型FM

独自のFM

2つのフェーズ

参画型プロジェクト

### FMメニュー

外部任せにするのではなく、下記のメニューを社内で実施し、自分たちでFMサイクルをまわす

スペース稼働率調査	ベンチマーキング	行動分析調査
移転前/後満足度調査	FMメニュー	ワークプレイスコンセプトの策定
運用ルールづくり	デザイン検討 什器選定	プログラミング (要件定義)

### FMメニューの実行

組織運営のプロとして、コミュニケーションプランをたて、全従業員の意見を効果的に反映

アンケート調査	インタビュー	ワーキングチーム
移転通信	FMメニューの実行	各種合議体
従業員投票	社内コンペ	推進委員会

# 自律と協働を促進し「個と組織を生かす」ワークプレイスの構築

個と組織を生かす

## co-creative base camp の実現

小さな組織を感じながらも大きな組織も感じ取るために「緩やかな部門別のゾーン」と「全社共有ゾーン」の2つで構成

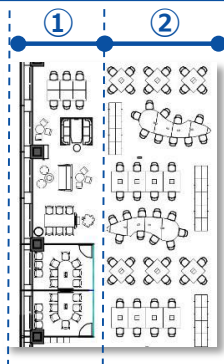
### 緩やかな部門別のゾーン

一緒にいる仲間との経験を大切にするために小さなまとまりを重視したゾーン

#### 2つのエリアの組み合わせ

①さまざまな活動が選べるエリアと②チーム主体のエリアの2つで構成。その時の活動に合わせて、働く場所を選びます。

●活動に合わせて選ぶエリア  
部門の人に必要機能をつくることで、自然に部門が集まることを促します



●個とチームを両立するエリア  
デスクの形や配置でランダムな動線をつくり、偶然の出会いを促します

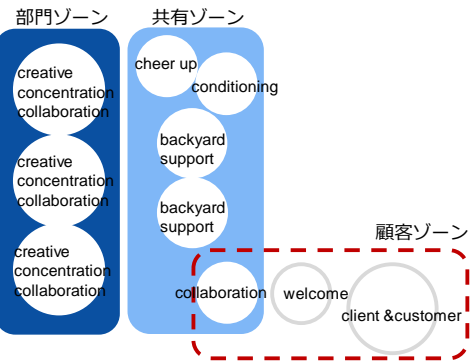


### 全社共有のゾーン

全員で達成感を共有したり、力を蓄積したり、活動を支援するゾーン

#### ●Arena/Café

社内でのイベントから打ち合わせ、個人ワークなども可能な多目的なエリア



### 顧客ゾーン

顧客向けの研修・セミナーのためのゾーン

